

Kompira cloud 共通メニュー利用ガイド

目次

1.	はじめに	3
2.	用語.....	3
3.	共通メニューについて.....	4
3.1.	言語の切り替え	5
3.2.	関連リンクの参照.....	5
3.3.	設定画面への移動.....	6
3.4.	WEBGUI からログアウト	6
4.	各設定利用ガイド	7
4.1.	全般 - スペース	7
4.1.1.	スペース表示名の変更.....	8
4.1.2.	料金プランの確認と変更	8
4.1.3.	AlertHub の受信メッセージ数の確認	9
4.2.	全般 - プロフィール	10
4.2.1.	ユーザの表示名の変更.....	10
4.2.2.	ユーザのメールアドレスの変更.....	11
4.2.3.	ユーザのパスワードの変更.....	12
4.2.4.	多要素認証の有効化.....	13
4.2.5.	多要素認証の無効化.....	13
4.2.6.	多要素認証有効時のその他の設定	13
4.2.7.	開発者モードの有効化.....	14
4.3.	全般 - ユーザと招待	15
4.3.1.	新規ユーザの招待	15
4.3.2.	招待中のユーザの確認.....	16
4.3.3.	ユーザの編集	17
4.4.	接続 - API トークン.....	17
4.4.1.	API トークンの新規発行.....	18
4.4.2.	API トークンの削除.....	19
4.4.3.	API トークンの編集について.....	19
4.5.	接続 - Ksocket	19
4.6.	ツール - 認証情報生成.....	20
4.7.	その他.....	20
4.7.1.	スペース解約	20

5.	チュートリアル：多要素認証の構成と利用.....	21
5.1.	多要素認証の有効化.....	21
5.2.	多要素認証のセットアップ.....	22
5.3.	多要素認証を利用したログイン.....	25
5.4.	デバイスを記憶する.....	26
5.5.	メールアドレスを利用した多要素認証を行う.....	27
5.6.	リカバリーコードを利用した多要素認証を行う.....	28

1. はじめに

Kompira cloud には、各サービスのメニューとは別に、Kompira cloud の WEBGUI やスペース自体に関連する設定/確認項目が存在します。（以下共通メニュー）

本利用ガイドでは、各共通メニューの利用方法について記載します。

2. 用語

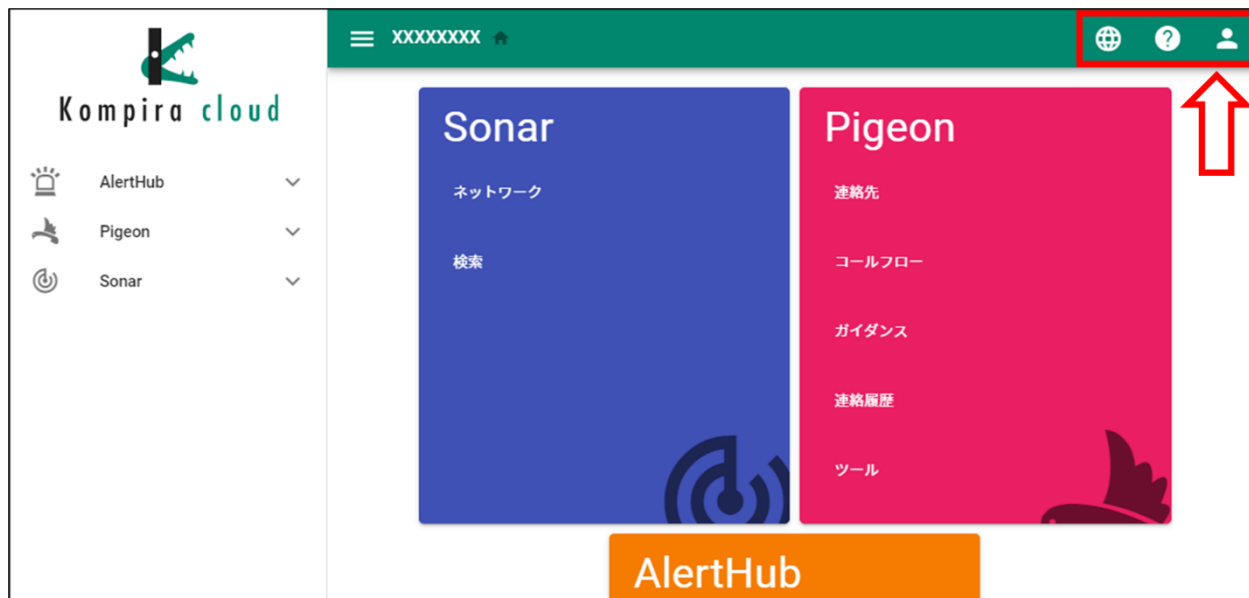
本ドキュメントに登場する用語について説明します。

スペース	Kompira cloud の契約ごとの専用テナント。
スペース表示名	スペースの名前。Kompira cloud のアドレス(https://xxxx.cloud.kompira.jp)の一部に使われるスペース ID (xxxx 部分) とは異なる。
WEBGUI	本ドキュメントでは Kompira cloud の WEBGUI を指す。
共通メニュー	スペースや接続ユーザ、WEBGUI 全般に関連する設定/確認項目。
API トークン	利用しているスペースに対して API アクセスを行うために必要となるトークン。
リカバリーコード	多要素認証を有効化した際に払い出される特別なコード。 リカバリーコードを用いると、SMS やメールでの多要素認証を行うことができない場合にも WEBGUI にログインすることができるようになる。 (同じリカバリーコードは 1 回のみ使用可能)

3. 共通メニューについて

共通メニューは、WEBGUI の右上に表示されているアイコンより利用可能です。

アイコンをクリックすることでサブメニューやリンクが表示されます。




共通メニューでは以下のような操作が可能です。

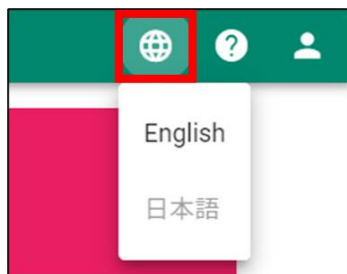
- ・ 表示言語を切り替える
- ・ Kompira cloud 関連リンクを参照する
- ・ 接続中のユーザの設定を変更する
- ・ ユーザの招待/削除を行う
- ・ API 接続用のトークンの作成/削除を行う
- ・ Kompira cloud 契約情報の確認/変更を行う

共通メニューの中には、一部例外的に個別サービスに特化した設定やツールが存在します。


それらの項目については、各個別サービスのドキュメントをご参照ください。

3.1. 言語の切り替え

WEBGUI の右上のアイコンより「」をクリックし、言語名をクリックすることで WEBGUI の表示言語を切り替えることが可能です。




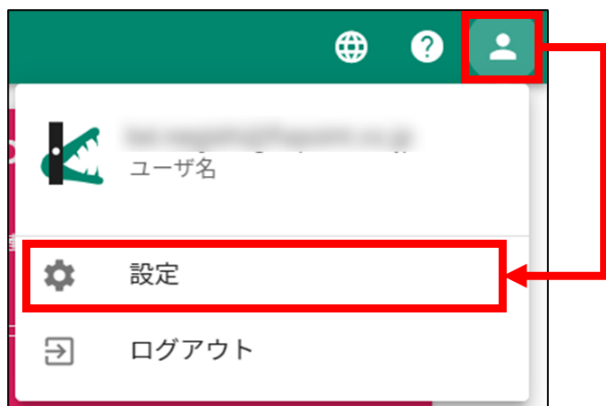
3.2. 関連リンクの参照

WEBGUI の右上のアイコンより「」をクリックすることで関連リンクが表示されます。各リンクをクリックすると、新しいウィンドウでリンク先のページが開かれます。




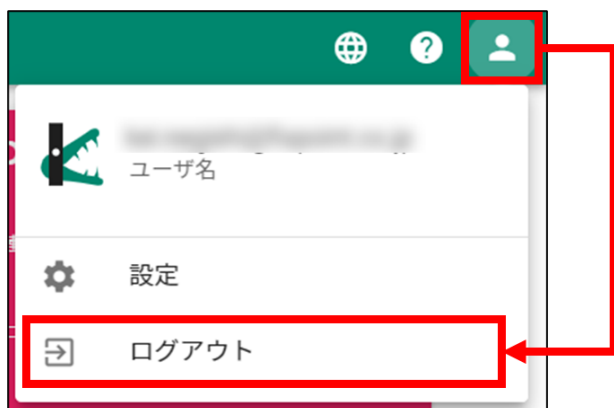
3.3. 設定画面への移動

WEBGUI の右上のアイコンより「」をクリックした後、「設定」をクリックすることで設定画面に移動することが可能です。（設定画面の利用方法については後述の「各設定利用ガイド」をご参照ください。）



3.4. WEBGUI からログアウト

WEBGUI の右上のアイコンより「」をクリックした後、「ログアウト」をクリックすることで WEBGUI からログアウトを行います。

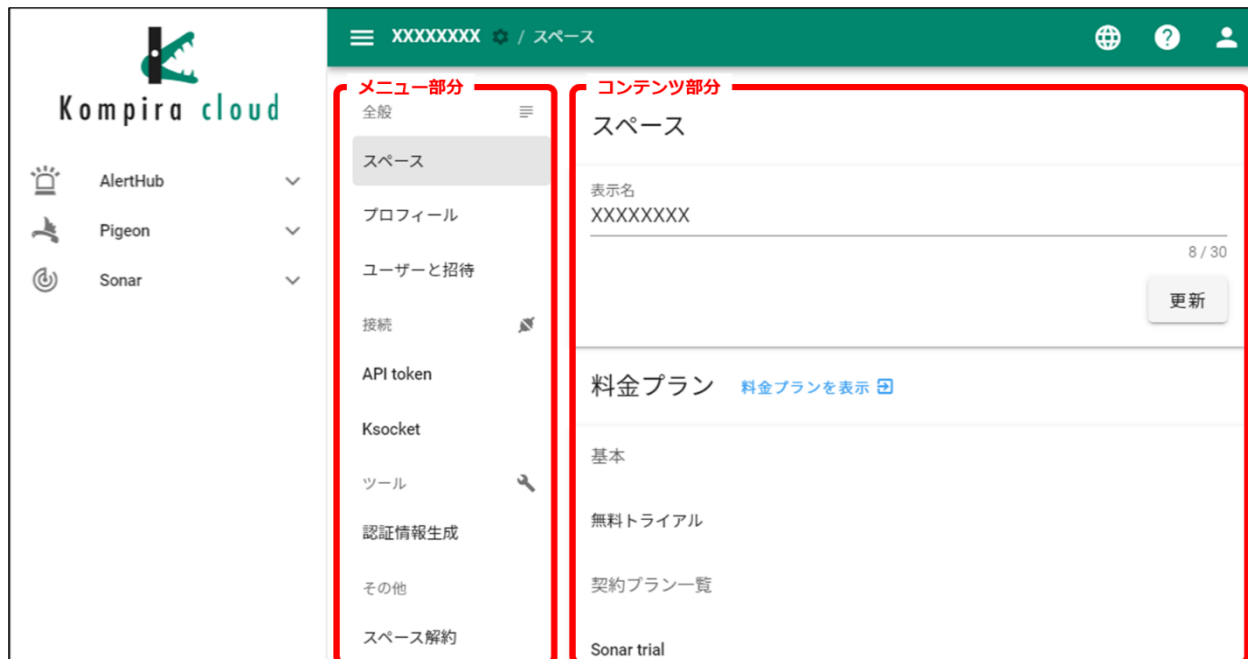


ログアウト終了後、ログイン画面へと画面が遷移します。

4. 各設定利用ガイド

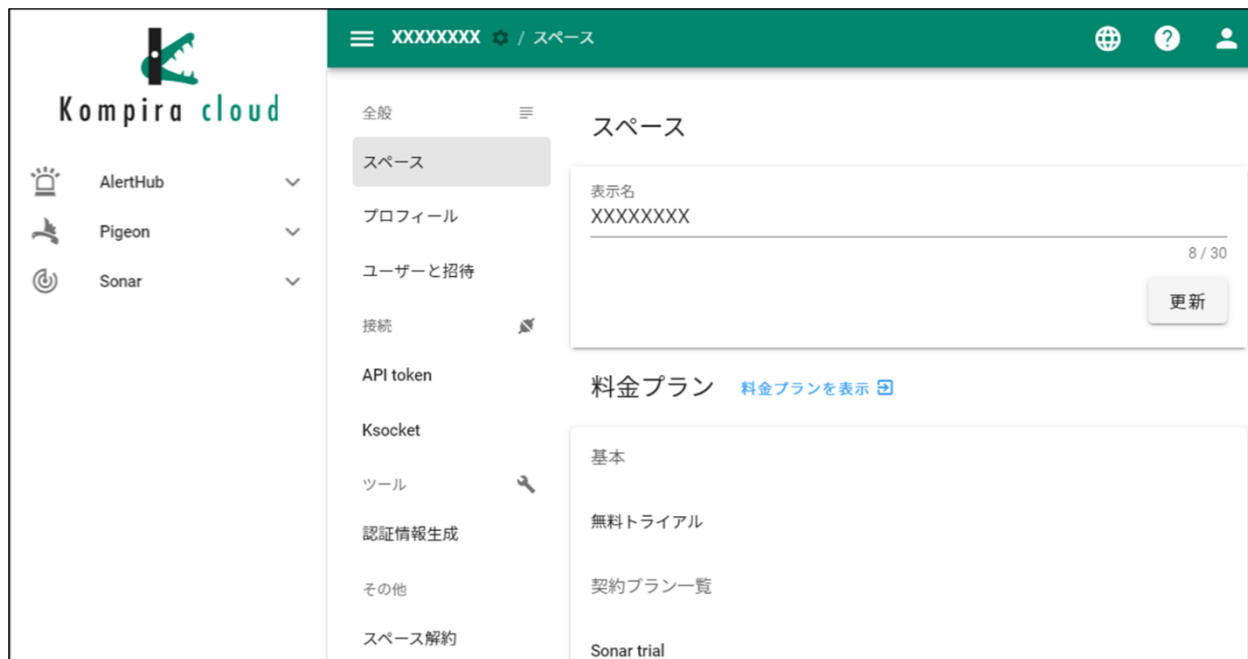
設定画面は、メニュー部分とコンテンツ部分により形成され、メニュー部分から設定カテゴリを選択し、コンテンツ部分にて各操作を実施します。

(設定画面に移動した直後は「全般 - スペース」の画面が表示されます。)



4.1. 全般 - スペース

「全般 - スペース」では、スペース表示名や契約情報の確認/変更、Kompira AlertHub の利用量の確認を行うことが可能です。



4.1.1. スペース表示名の変更

「スペース」のテキストボックスにスペース名を入力し、更新ボタンをクリックすることでスペース表示名の変更を行うことが可能です。

スペース

表示名
XXXXXXXX

8 / 30

更新

4.1.2. 料金プランの確認と変更

「料金プラン」では、ご契約中の Kompira cloud の契約プランの確認を行うことが可能です。

料金プラン [料金プランを表示](#)

基本

無料トライアル

契約プラン一覧

Sonar trial

Pigeon trial

AlertHub trial

アップグレード

4.1.3. AlertHub の受信メッセージ数の確認

「AlertHub の受信メッセージ数」では、最大過去 12 か月分、Kompira AlertHub で受信したメッセージの月別の件数と、表示されている月の合計件数の確認を行うことが可能です。

AlertHubの受信メッセージ数	
起点年月 📅 今月	取得月数 📅 3
年月	メッセージ件数
2021-05	36
2021-04	5
2021-03	0
合計	41

「起点年月」は、「今月」あるいは「年月指定」から選択することが可能です。

「起点年月」にて「年月指定」とすることで、画面に「年月」の指定 BOX が表示されるようになります。

AlertHubの受信メッセージ数	
起点年月 📅 今月	取得月数 📅 3
年月	メッセージ件数
2021-05	36
2021-04	5
2021-03	0
合計	41

年月指定を選択すると →

AlertHubの受信メッセージ数		
起点年月 📅 今月	年月 2021-05	取得月数 📅 3
年月	メッセージ件数	
2021-05	36	
2021-04	5	
2021-03	0	
合計	41	

「取得月数」は、起点年月で指定された月から「何ヶ月分のデータをさかのぼるか」の指定となり、1～12までの値が指定可能です。

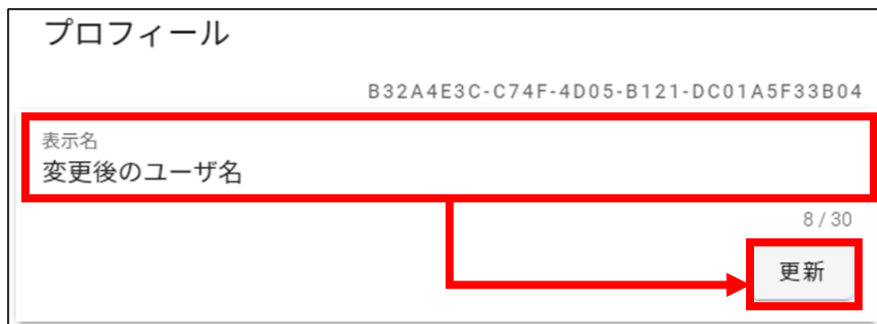
4.2. 全般 - プロフィール

「全般 - プロフィール」では、現在操作しているユーザの設定変更を行うことが可能です。

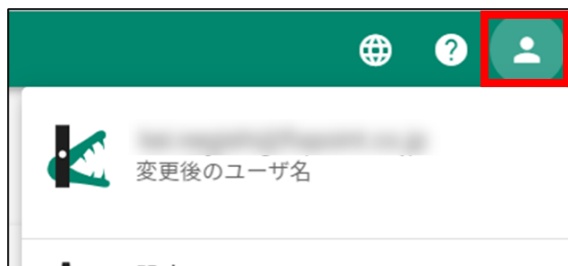


4.2.1. ユーザの表示名の変更

「プロフィール」のテキストボックスにユーザの表示名を入力し、更新ボタンをクリックすることでユーザの表示名の変更を行うことが可能です。



変更されたユーザの表示名は、WEBGUI 右上の「」をクリックすることで確認を行うことが可能です。



4.2.2. ユーザのメールアドレスの変更

「メールアドレスの変更」のテキストボックスにメールアドレスを入力後、送信ボタンをクリックすると、入力したメールアドレス宛に差出人「noreply@kompira.jp」からメールアドレス変更用の URL が送信されます。

メールアドレスの変更

メールアドレスを変更するためにアクティベーションメールを入力されたメールアドレスに送信します。メール本文に記載された URL にアクセスし、メールアドレスの変更を完了してください。なお URL の有効期限は 24 時間となっています。

メールアドレス

送信

その後、メールに記載された URL にアクセスしたうえ、ユーザのパスワードを入力し更新ボタンをクリックすることで、メールアドレスの変更を行うことが可能です。

Kompira cloud

メールアドレスの変更

ご利用いただいている Kompira cloud アカウントのパスワードを入力して変更を完了してください。

パスワード

更新

以降、変更されたメールアドレスを使用し WEBGUI にログインしてください。

4.2.3. ユーザのパスワードの変更

「パスワード送信」の送信ボタンをクリックすると、ユーザのメールアドレス宛に、差出人「noreply@kompira.jp」からパスワード変更用の URL が送信されます。

パスワードの変更

パスワードを変更するためにアクティベーションメールを登録されたメールアドレスに送信します。メール本文に記載された URL にアクセスし、新規パスワードを入力して変更を完了してください。なお URL の有効期限は 24 時間となっています。

送信

その後、メールに記載された URL にアクセスしたうえ、ユーザの新しいパスワードを入力し更新ボタンをクリックすることで、パスワードの変更を行うことが可能です。



パスワードの変更

ご利用いただいている Kompira cloud アカウントの新しいパスワードを入力して変更を完了してください。

新しいパスワード 

新しいパスワード (再入力)

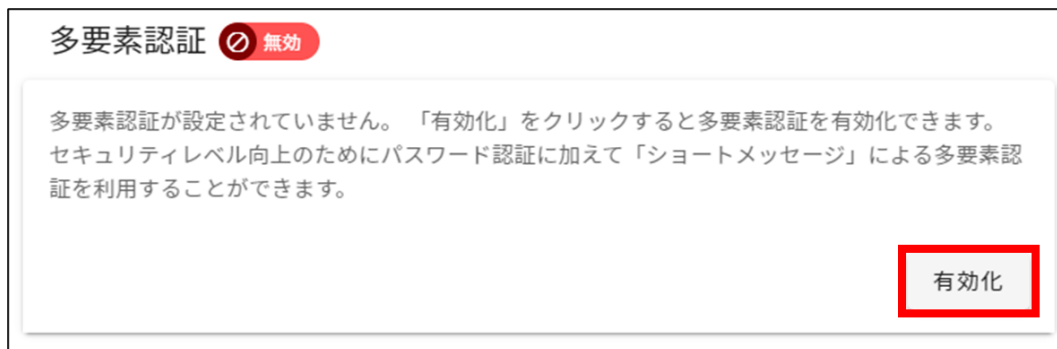
更新

以降、新しいパスワードを使用して WEBGUI にログインしてください。

4.2.4. 多要素認証の有効化

多要素認証が無効になっている状態で、「多要素認証」より有効化ボタンをクリックすると、SMSによる多要素認証のセットアップを開始することが可能です。多要素認証のセットアップを行うことで、多要素認証が有効化されます。

多要素認証のセットアップ方法については、後述の「チュートリアル：多要素認証の構成と利用」をご参照ください。



4.2.5. 多要素認証の無効化

多要素認証が有効になっている状態で、「無効化」をクリックすることで多要素認証を停止し、メールアドレスとパスワードだけでログインが行えるようになります。



4.2.6. 多要素認証有効時のその他の設定

多要素認証が有効になっている状態では、その他に以下2点の設定を行うことが可能です。

- ・リカバリーコードの再発行

リカバリーコード（1度だけ多要素認証に利用できる特別なコード）を再発行することが可能です。再発行前に発行していたリカバリーコードは無効になります。

（リカバリーコードについては「チュートリアル：多要素認証の構成と利用」をご参照ください。）

- ・次回ログイン時に多要素認証を再要求

多要素認証を使用してログインを行う際、30日間はデバイスを記憶し、多要素認証をスキップさせることが可能となりますが、再要求ボタンをクリックすることで、その記憶情報を破棄し、次回ログイン時に再度多要素認証を強制することが可能です。

多要素認証

多要素認証が有効化済みです。「無効化」をクリックすると多要素認証の無効化・再設定が可能です。

無効化

リカバリーコードの再発行

リカバリーコードを再発行します。発行済みのリカバリーコードは破棄されます。

🔄再発行

次回ログイン時に多要素認証を再要求

記憶されているブラウザ情報を無効にします。すべてのブラウザ・すべての認証要素について無効になり、再度多要素認証をする必要があります。

🔄再要求

4.2.7. 開発者モードの有効化

「ユーザ設定」の開発者モードのトグルを ON にすることで、開発者モードを有効にすることが可能です。開発者モードでは、スペース内で実行されている内部タスクについての進捗等の確認を行うことが可能となりますが、高度な開発者向け機能となるため、通常利用することはありません。

ユーザー設定

ブラウザのローカルストレージに保存される設定項目です。保存された設定は別のブラウザでは参照できません。

開発者モード

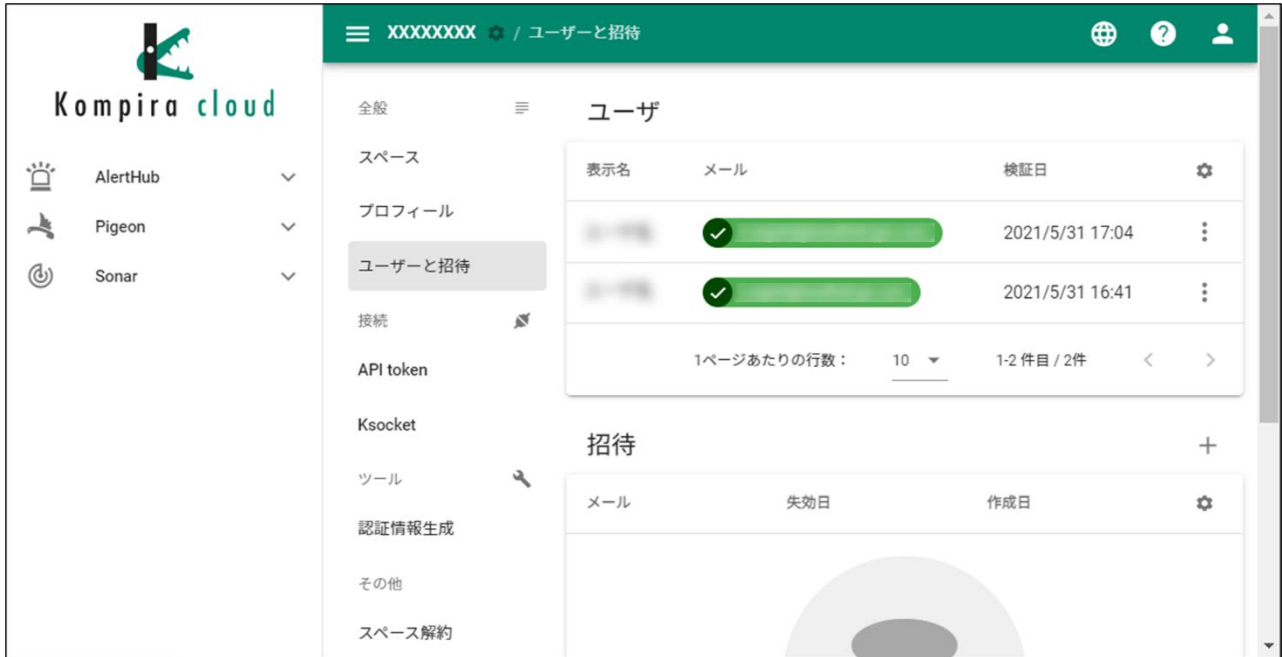
高度な開発者向け機能を有効にします。このモードではアプリケーションエラーが発生する可能性があります。



4.3. 全般 - ユーザと招待

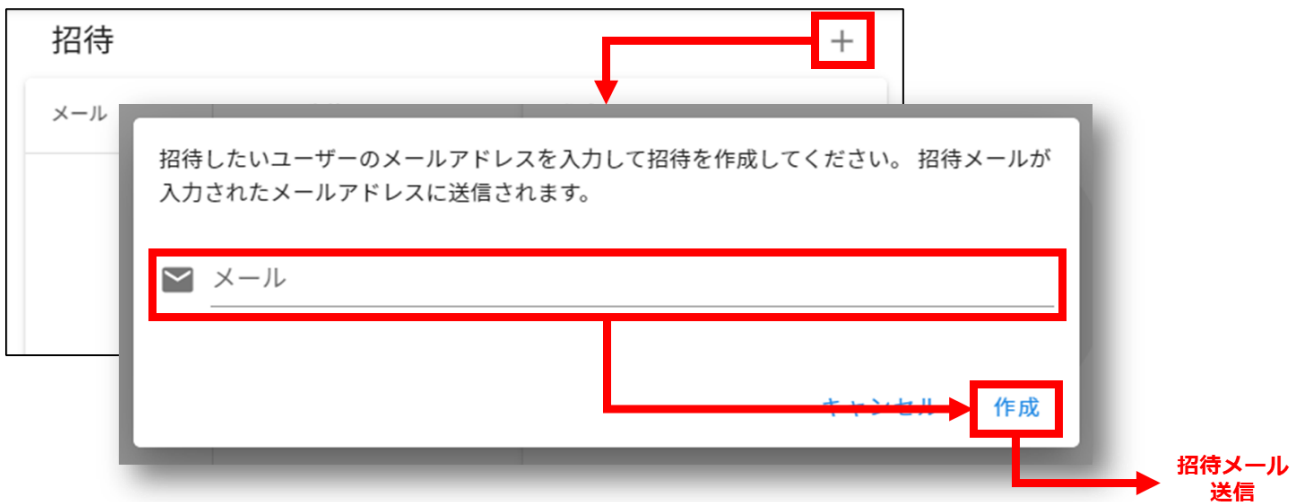
「全般 - ユーザと招待」では、WEBGUI に登録されているユーザの確認/変更と、新しいユーザの招待を行うことが可能です。

「ユーザ」の一覧には現在登録中のユーザが表示され、「招待」の一覧には現在招待中のユーザが表示されます。招待が完了したユーザは、「招待」の一覧から「ユーザ」の一覧に移動されます。



4.3.1. 新規ユーザの招待

「招待」より、右側「+」マークをクリックし、表示されるダイアログにメールアドレスを入力後「作成」ボタンをクリックすることで、ユーザを招待することが可能です。



入力されたメールアドレスには、差出人「noreply@kompira.jp」より、Kompira cloud への招待メールが送信されます。

メールに記載された URL にアクセスしたうえ、パスワードとユーザの表示名を入力することで Kompira cloud への登録が完了となります。

Kompira cloud

ユーザ登録

ユーザ登録を完了するために以下の情報を入力してください。

パスワード

パスワード (再入力)

表示名

登録

4.3.2. 招待中のユーザの確認

ユーザを招待し、招待されたユーザが登録を完了するまでの間、「招待」の一覧に招待中のユーザが表示されています。

各データ右側の「⋮」をクリックすることでサブメニューが表示され、以下の操作を行うことが可能です。

- ・再送：招待メールの再送信を行います。
- ・削除：招待をキャンセルします。

メール	失効日	作成日	
	2021/6/7	2021/5/31 17:10	⋮

再送

削除

4.3.3. ユーザの編集

「ユーザ」の一覧に表示されている各データ右側の「⋮」をクリックすることでサブメニューが表示され、以下の操作を行うことが可能です。

- ・編集：ユーザの表示名の変更を行います。自分以外のユーザに対しても編集を行うことが可能です。
- ・削除：ユーザを削除します。自分自身は削除できません（サブメニューに「削除」が表示されません。）

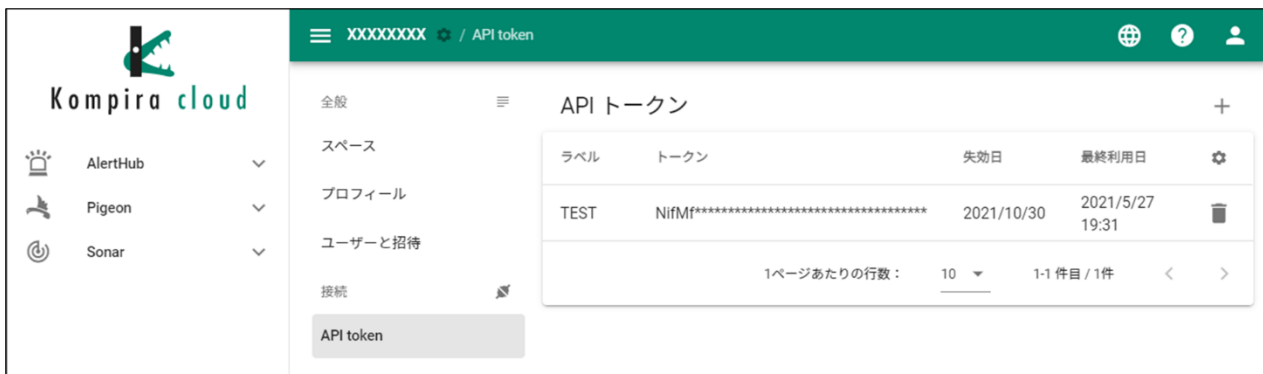


4.4. 接続 - API トークン

「接続 - API トークン」では、Kompira cloud の API を利用するために必要となる API トークンの管理を行うことが可能です。

API トークンは、新規作成時のみ全体が表示され、一覧表示では一部伏字の状態が表示されます。

(API トークン作成時以外では、API トークン全体の確認を行うことは出来ません。)



4.4.1. API トークンの新規発行

「API トークン」より、右側「+」マークをクリックし、任意のラベル名と失効日を入力の上「保存」ボタンをクリックすることで、API トークンの新規発行を行うことが可能です。




保存ボタンをクリックすると API トークンが作成され、一度限り API トークンの全体が表示されます。

「閉じる」ボタンをクリックした後は全体の表示を確認することができなくなるため、忘れずに API トークンを控えてください。

(「クリップボードにコピー」をクリックすると、API トークンの内容がクリップボードにコピーされます。)



4.4.2. API トークンの削除

「API トークン」の一覧より、右側「」マークをクリックすることで、API トークンの削除を行うことが可能です。



ラベル	トークン	失効日	最終利用日	
TEST	NifMf*****	2021/10/30	2021/5/27 19:31	

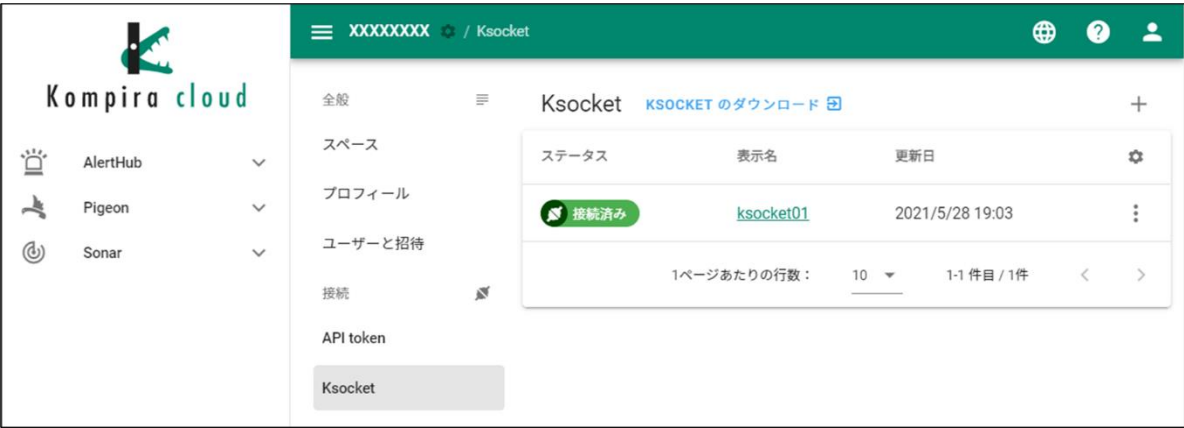
4.4.3. API トークンの編集について

API トークンを一度発行した後は、ラベルやトークンの変更、期間の延長を行うことは出来ません。その為、本番運用で使用する API トークンの作成時には、ラベルや期間についてよく検討したうえ作成を行ってください。

4.5. 接続 – Ksocket

「接続 - Ksocket」では、Kompira Sonar の利用時に必要となる Ksocket と呼ばれるエージェントについての管理が行えます。

Kompira Sonar の設定項目の一部となるため、Kompira Sonar のドキュメントをご参照ください。



Kompira cloud

AlertHub
Pigeon
Sonar

全般
スペース
プロフィール
ユーザーと招待
接続
API token
Ksocket

XXXXXXXXX / Ksocket

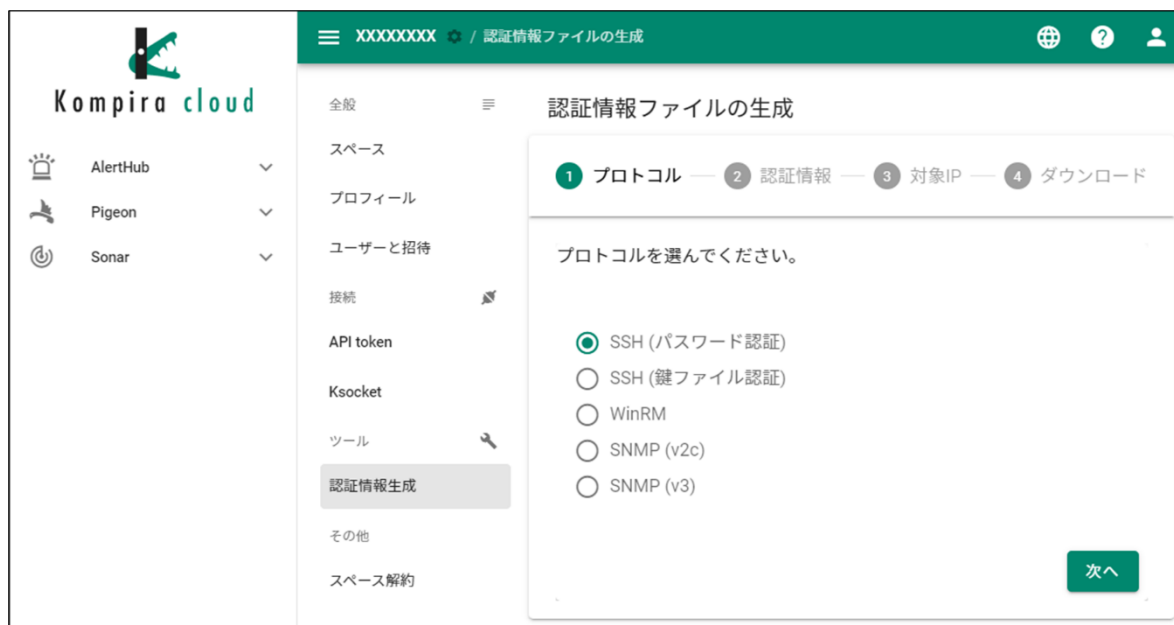
全般 Ksocket KSOCKET のダウンロード

ステータス	表示名	更新日	
接続済み	ksocket01	2021/5/28 19:03	

4.6. ツール - 認証情報生成

「ツール - 認証情報生成」では、Kompira Sonar の動作に必要となる「認証情報ファイル」の生成についてのウィザードを利用することが可能です。

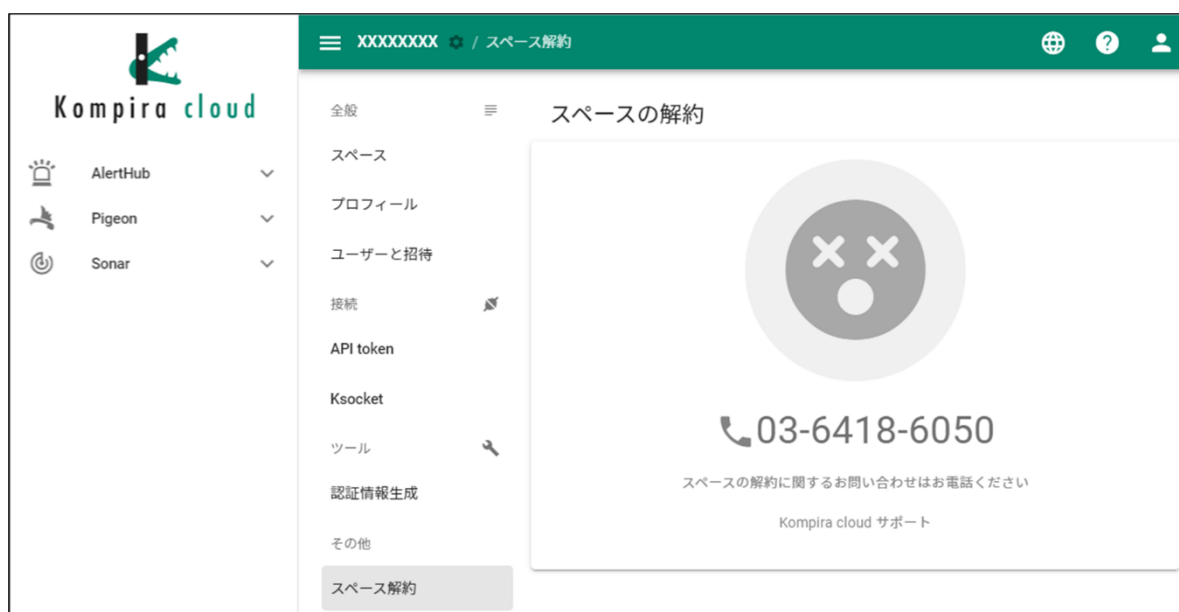
こちらにも「接続 - Ksocket」同様、Kompira Sonar の設定項目の一部となるため、Kompira Sonar のドキュメントをご参照ください。



4.7. その他

4.7.1. スペース解約


「その他 - スペース解約」では、ご契約中のスペースの解約の為の連絡先を確認することが可能です。解約についてはWEBGUIからの実施が行えない為、表示されている電話番号にご連絡ください。

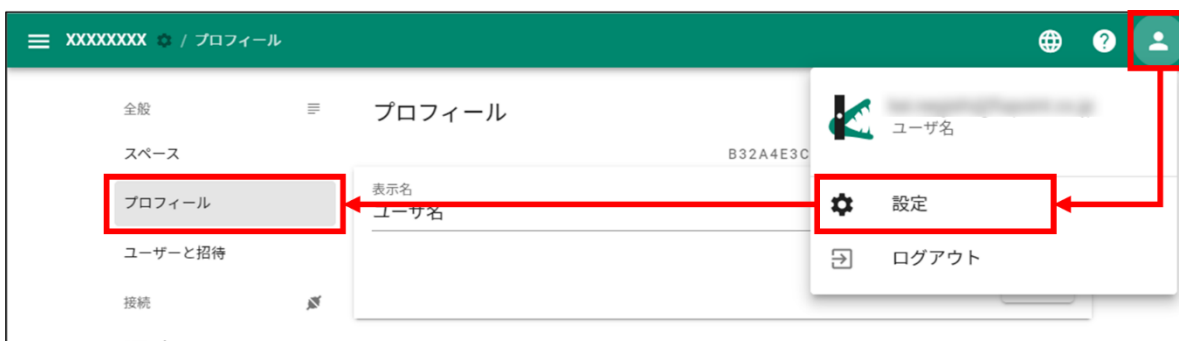


5. チュートリアル：多要素認証の構成と利用

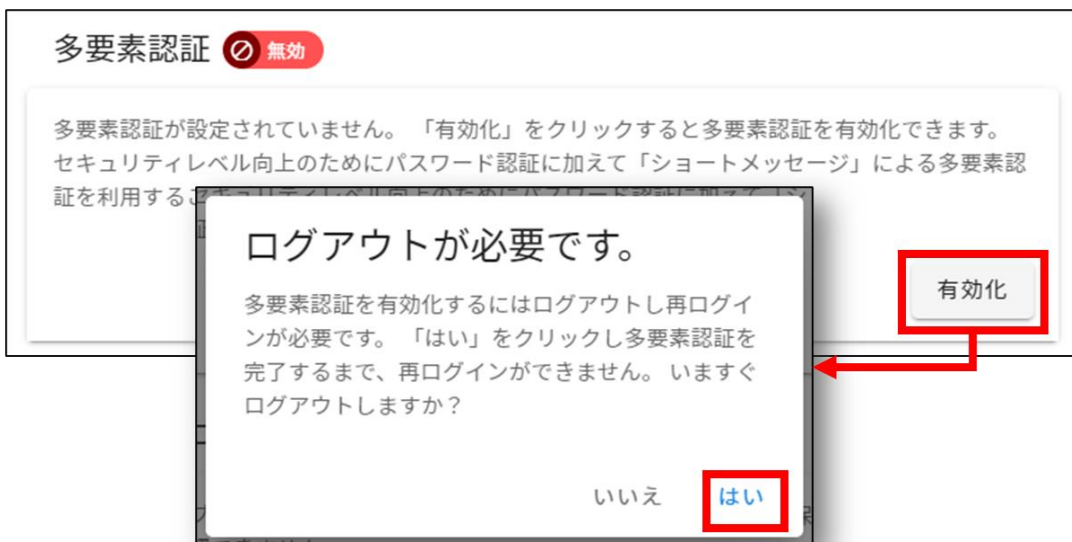
ここでは、多要素認証の構成と利用について、チュートリアル形式で記載します。

5.1. 多要素認証の有効化

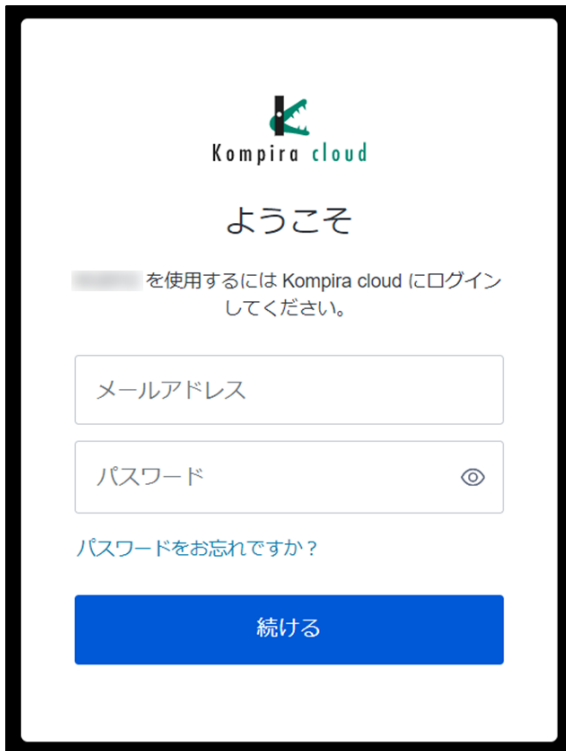
WEBGUI 右上の「」 → 「設定」をクリックして設定画面に移動したのち、メニュー部分より「プロフィール」をクリックし、プロフィール設定画面に移動します。



その後、コンテンツ部分下部にある、「多要素認証」にて、タイトルの右側に「無効」と記載されていることを確認したうえで「有効化」ボタンをクリックし、「ログアウトが必要です。」のダイアログにて「はい」をクリックし、一度 WEBGUI からログアウトを行ってください。



ログアウトが行われると、ログイン画面が表示されます。



5.2. 多要素認証のセットアップ

前項にて、「多要素認証の有効化→ログアウト」を行ったユーザのメールアドレスとパスワードをログイン画面に入力後、「続ける」ボタンをクリックしてください。



次に、「アカウントの安全性向上」というダイアログが表示されるので、国コード、および電話番号を入力後「続ける」ボタンをクリックしたのち、入力した電話番号に届く SMS を確認してください。

(SMS には、6 桁の確認コードが記載されています。)

Kompira cloud

アカウントの安全性向上

電話番号を以下に入力してください。コードを記載した SMS がこの番号に送信されます。このコードを次の画面に入力してください。

● 日本, JP, +81 >

電話番号の入力

続ける

SMS 確認後、「ご本人確認」というダイアログにて、SMS にて確認した 6 桁の確認コードを入力し「続ける」ボタンをクリックしてください。

Kompira cloud

ご本人確認

次の番号にテキストメッセージが送信されました：

+81 [redacted] 編集

6 桁のコードの入力

続ける

コードが届いていませんか？ 再送信

確認コードの入力後、「あと少しです。」というダイアログが表示され、リカバリーコードという特殊なコードが表示されます。このコードをコピーして確実に保管し「コードを安全に記録しました」にチェックをつけ、「続ける」ボタンをクリックすることで多要素認証のセットアップが完了し、WEBGUI へのログインが行えるようになります。

(「コードのコピー」をクリックすると、リカバリーコードがクリップボードにコピーされます。)



5.3. 多要素認証を利用したログイン

多要素認証が有効になっているユーザは、ログイン画面にてメールアドレスとパスワードを入力後に「続ける」ボタンをクリックすると、登録されている電話番号に SMS で 6 桁の確認コードが送信されます。

Kompira cloud

ようこそ

を使用するには Kompira cloud にログイン
してください。

メールアドレス

パスワード

パスワードをお忘れですか?

続ける

SMS に届いた確認コードを「ご本人確認」のダイアログに入力することでログインを行うことが可能です。

Kompira cloud

ご本人確認

次の番号にテキストメッセージが送信されまし
た:

XXXXXXXXXX

6 桁のコードの入力

このデバイスを 30 日間記憶する

続ける

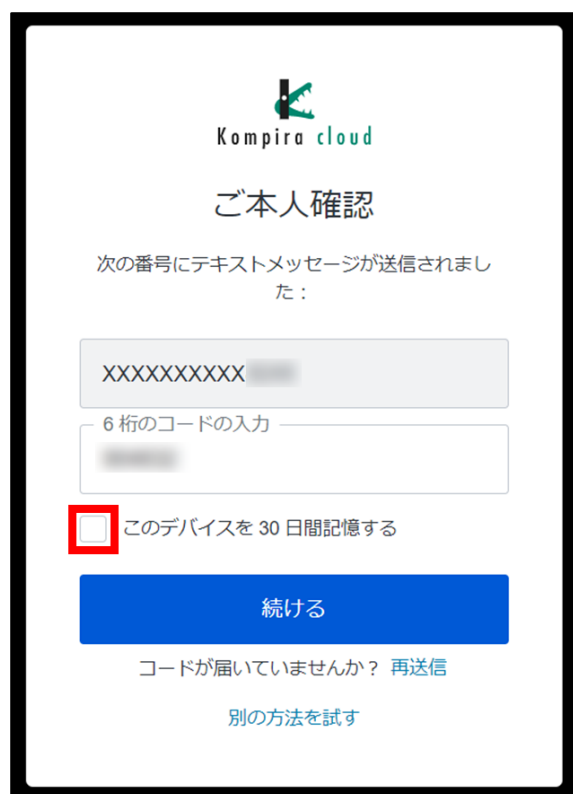
コードが届いていませんか? 再送信

別の方法を試す

5.4. デバイスを記憶する

多要素認証が有効化されたユーザは、WEBGUI からログアウトせずにブラウザを閉じた場合であっても、次回 WEBGUI にアクセスする際に再度多要素認証を求められることになります。

WEBGUI 閲覧に毎回多要素認証を行うことを避けたい場合、多要素認証を行う際に「このデバイスを 30 日間記憶する」にチェックをつけた後にログインを行ってください。



Kompira cloud

ご本人確認

次の番号にテキストメッセージが送信されました:

XXXXXXXXXX

6桁のコードの入力

このデバイスを30日間記憶する

続ける

コードが届いていませんか? 再送信

別の方法を試す

上記により、同じブラウザからのアクセスである限り、30 日間は多要素認証をスキップすることが可能です。

5.5. メールアドレスを利用した多要素認証を行う

何らかの理由により登録した電話番号が利用できない場合、「ご本人確認」のダイアログから「別の方法を試す」をクリックし、「メール」を利用することで、メールアドレスを利用した多要素認証を行うことが可能です。

ユーザのメールアドレス宛に差出人「noreply@kompira.jp」より6桁の確認コードが届く為、SMSでの多要素認証と同様、確認コードを入力してログインを行ってください。



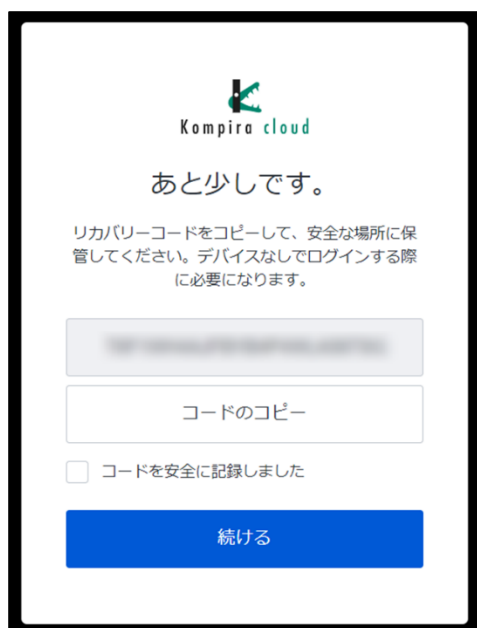
5.6. リカバリーコードを利用した多要素認証を行う

登録した電話番号が利用できず、ユーザのメールアドレスも利用できない、といった場合には、リカバリーコードを用いて1回のみ多要素認証を行うことが可能です。

「ご本人確認」のダイアログから「別の方法を試す」をクリックし、「リカバリーコード」を選択したうえで、リカバリーコードを入力してログインを行ってください。



なお、同じリカバリーコードは一度しか使用できない為、リカバリーコードを使用してログインを行った場合は、多要素認証をセットアップした時のようにリカバリーコードが再発行されます。



新しいコードを忘れずに控えるようにしてください。